

第8章 環境保全

環境汚染発生状況

(1) 環境汚染の種類別発生件数

平成18年度の畜産環境汚染の発生は、10件と前年に比べ3件減少した。
原因別では「悪臭発生」が最も多く、発生件数全体の50%を占める。

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	16年度	17年度	18年度
悪臭発生	43	52	14	10	7	5
水質汚濁	25	19	1	5	4	2
水質・悪臭	11	8	2	3	0	1
悪臭・害虫	16	6	2	1	2	1
害虫発生	21	19	0	0	0	1
その他(流出)	5	7	0	0	0	0
計	121	111	19	19	13	10

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

(2) 畜種別発生件数

畜種別合計

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	16年度	17年度	18年度
豚	65	50	9	11	7	3
乳用牛	30	25	0	0	1	0
肉用牛	4	5	1	2	1	4
採卵鶏	21	23	9	6	2	2
ブロイラー	1	1	0	0	2	0
その他(馬)	0	7	0	0	0	1
計	121	111	19	19	13	10

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

飼養規模別件数(畜種別合計の平成18年度内訳)

		悪臭発生	水質汚濁	害虫	水質・悪臭	悪臭・害虫
豚	1～49頭					
	50～499頭					
	500～999頭	1				
	1,000頭以上	1			1	
牛	1～19頭		1			
	20～29頭	1				
	30～49頭	1	1			
	50～99頭					
	100頭以上					
採卵鶏	1～4,999羽					
	5,000～9,999羽					
	10,000羽以上			1		1
ブロイラー	1～9,999羽					
	10,000～29,999羽					
	30,000～49,999羽					
	50,000～99,999羽					
	100,000羽以上					
その他	1					
計	5	2	1	1	1	

資料：県畜産課調査